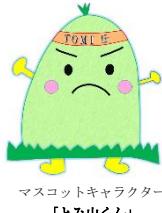


教育目標 「進んで学び 豊かな心で やりぬく子」



マスコットキャラクター
「とみ山くん」

とみおか

<http://www.tomioka.jorne.ed.jp/>

E-mail:tomioka@jorne.or.jp

令和5年11月20日

上越市立富岡小学校

学校だより No. 7

TEL:025-523-2843

灯火親しむ秋～私のペースでしおりは進む～

読書の秋です。コロナ過では「家読」の取組が注目されました。子どもが読んでいる本を親や家族も読むことで共通の会話を増やし、家族のコミュニケーションを深めるというものです。親が本を読む姿を子どもに見せていないことが、読書離れの原因の一つともいわれています。

学校では、毎学期読書週間を設定し、子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身に付けられるようにと様々な取組を行っています。2学期は、11月6日(月)～12日(日)に以下の取組を行いました。

図書委員会では、期間中の貸出時に「読書くじ」を引き、プレミアムしおりやもう一冊借りられる券、貸出延長券などが当たる企画に取り組みました。大勢の子どもたちが図書室に足を運んでいました。

「読書郵便」では、スマイル班の友達や仲のいい友達に紹介したい本をはがきに書いて送り合いました。子どもたちは、心を込めてお勧めの本の絵や紹介文を書いたり、貰ったはがきに書かれた様々なジャンルの本に興味を深めたりしていました。

9日(木)には、出張コンサート「おはなしの世界～渡辺りか子の音楽とともに～」を全校で楽しみました。演目は、上越市出身で日本児童文学の父と称される小川未明の『月とあざらし』と『月夜のめがね』の2本でした。朗読に合わせたフルート・ピアノ・電子ピアノ・たいこによるオリジナル曲の生演奏と幻想的な映像によって、未明童話の世界観に浸ることができた豊かなひと時となりました。10日(金)には、6年生を対象とした小川未明文学館シャーフの会による小川未明お話し会を実施しました。

その他にも、スマイル班や図書委員による読み聞かせ、自主学習等での読書の奨励、親子読書等に取り組みました。子どもたちには、様々な本との出会いを通じて、物の見方・考え方を広げてほしいと願っています。いくつになっても、新しい知識を得ることや他の考えを知ることは、人間の喜びの一つであり、読書習慣は一生の財産になり得るものだと思っています。



いじめ見逃しゼロ作戦～自分も相手も大切に～

11～12月の生活目標は、「いじめについて考えよう」です。子どもたちは、「いじめはよくないこと」と認識しています。しかし、いじめの認知件数がゼロになることはありません。自他の違いを認め、他者の行動や気持ちを尊重しようとする態度や知的理解を基盤として、学校でも家庭でも地域社会においても「いじめは人として絶対に許されない」雰囲気を浸透させることが重要です。学校では、以下の取組を行っています。

○上越市子どもの権利学習テキスト「えがお」を用いた授業

子ども自身が子どもの権利とは何かを理解し、自分の権利と同じように他者の権利を尊重すること、お互いを思いやる心を育むことを目指しています。学習に用いたテキストは、2学期の通知表と一緒に保護者にお渡ししますので、各家庭でご確認ください。

○同和教育に関する授業公開

12月8日（金）13：40～14：25の学習参観時には、全学級で人権教育、同和教育にかかる授業を行います。どの学年の授業を見ていただいても構いません。ぜひ、ご来校ください。

○いじめについての話し合い活動

各学級でいじめについて話し合い、一人一人が具体的な行動目標を考えて「いじめノックアウト宣言」を作成します。12月12日（火）の昼休みには、児童会生活環境委員を中心となって「いじめ見逃しゼロ集会」を行い、「いじめをしない、させない、見逃さない」機運をさらに高めます。

○教育相談(おしゃべりタイム)や心のアンケートの実施

毎月の心のアンケートに加え、全児童を対象とした教育相談を行い、早期発見・早期解決に努めています。12月のアンケートは各家庭での記入となりますので、ご協力をよろしくお願いします。

○スマイル班活動

毎月実施しているスマイルタイムは、班のみんながかかわり、楽しめるようにと6年生が中心になって活動を考えています。2学期は、サイレントゲームやアメリカンドッジなど新たな遊びが増えています。異学年交流活動により、相手を思いやる・協力する・決まりを守ることを目指しています。

なお、ネットを介したいじめなど、学校では見えにくいいじめも増えています。家庭や地域の大勢の大人の目で、いじめ見逃しゼロに取り組んでいくことが必要です。

気になること等がありましたら、どんな些細なことでも学校に教えていただければと思います。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

※SNSやAIの年齢制限に注意し、利用状況の把握をお願いします！

SNSには年齢制限があることをご存じでしょうか？Instagram、TikTok、Xは、どれも13歳未満はアカウントがつくれません。AIにも年齢制限があります。例えばChatGPTの使用は13歳以上からで18歳未満は保護者の同意が必要です。YouTubeも13歳以下の利用を禁じており、保護者の同意があれば利用可としています。子どもたちの会話には、YouTubeに関する話題が出てくることがあります。ネットトラブルに巻き込まれないよう、子どもたちのSNS等の利用について、今一度ご家庭で確認していただけますよう、お願ひいたします。

愛の鞭ゼロ作戦～子どもを健やかに育むために～

新道地区公民館と連携して実施した就学時健診時の家庭教育講座のテーマは、「子どものしつけ」でした。講師のすこやかなくらし包括支援センターの丸山保健師長様から、エビデンスに基づいたお話ををしていただきました。

子どもとの関わり方が、心身の発達に及ぼす影響やしつけと体罰の違いなどを考えながら、子育ての悩みや不安等について、保護者同士で情報交換をしながら交流を深めました。



しつけとは、子どもの人格や才能を伸ばし、社会において自立した生活が送れるようにすること等の目的から、子どもをサポートして社会性を育む行為です

- 子育てに体罰や虐待を使わない。
- 子どもが親に恐怖をもつと SOS を伝えられない。
- 爆発寸前のクールダウン。
- 親自身が SOS を出そう。
- 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援。

大成功！150周年記念マラソン大会

11月1日（金）に、150周年記念のマラソン大会を行いました。子どもたちは、自分の目標に向かって、休み時間や休日などもを利用して一生懸命に練習に取り組んでいました。

大会当日は、爽やかな青空の下、自分が選択したコースや距離で、友達と競い合ったり、自己の限界に挑戦したり、友達と励ましあったりしながら、それぞれの走る楽しさを感じることができたようです。スロージョギングの部では、飛び入り参加もあり、来場者みんなで気持ちよく走ることができました。

沿道での保護者や地域の皆様の温かいご声援、5名の保護者ボランティアの皆様と大学生ボランティアの協力によって、新たなスタイルのマラソン大会は大成功でした。ありがとうございました。子どもたちには150周年記念のオリジナルハンドタオルが贈られました。



学年も距離の枠も超えた挑戦



チャレンジコーススタート



スロージョギングゴール



12月の主な行事予定とお知らせ



- 1日(金) 金管課外 (4~6年)、学校訪問カウンセラー来校日
5日(火) スマイルタイム、金管課外 (4~6年)
6日(水) 校内人権週間 (~13日)
7日(木) 委員会活動
8日(金) 学習参観 (人権教育、同和教育)、2年生PTC (野菜調理)、5限放課、給食運営委員会、150周年記念事業実行委員会、小学校区体育大会検討委員会
11日(月) 学校訪問カウンセラー来校日
12日(火) 心のアンケート、いじめ見逃しゼロ集会
14日(木) クラブ活動最終日
15日(金) 通学班児童会、期末大掃除、学校司書来校日、iPad持ち帰り日、5限放課
18日(月) 期末大掃除
19日(火) 総務委員会主催「クリスマス集会」
20日(水) 期末大掃除、5限放課
21日(木) 5限放課
22日(金) 2学期終業式
25日(月) 冬期休業(1月8日まで)
29日(金)~1月3日(水) 閉学日



1年「ヤギさん祭り」

※保護者連絡システムの運用について

上越市では、お子さんの欠席連絡や学校からお便りやアンケート等を配信するシステムを準備ができた学校から順に導入しています。当校では、1月から運用を開始します。詳細については後日お示しいたしますので、対応をよろしくお願ひいたします。なお、これまで利用していたPTAメールは12月末には使えなくなります。学校だよりや学年だより、給食だより等については、今年度中は紙ベースでの配付も行います。

※これからの課外活動について

中学校の部活動改革が全国各地で進められています。併せて、小学校の課外活動についても縮小・廃止が進んでいます。当校では、教育課程外の活動に5・6年生のほぼ全員が体育部と金管部に所属して週2回の活動を行い、担任全員が関わっています。特に、金管課外においては、音楽を奏でられるようになるためにある程度の練習時間が必要であり、4年生の後半から活動に参加しています。また、楽器の維持や修繕のためには数十万円の経費が掛かり、主に後援会費で対応していただいています。

子どもたちの負担軽減、職員が授業準備や事務処理等をする時間の確保、経費の削減、学校から地域への移行等の観点から、来年度以降の学校で行う課外活動は、廃止・縮小の方向で考えています。ご意見等がございましたら、お知らせください。

